

第7回 日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館

協賛趣意書・申込書

会 期	2025年7月17日(木)～18日(金)
会 場	北海道大沼国際セミナーハウス
大会長	伊藤 丈雄 (医療法人雄心会 理事長)
主 催	日本スティミュレーションセラピー学会
後 援	北海道亀田郡七飯町 北海道亀田郡七飯町教育委員会



ご挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、スティミュレーションセラピーの普及と発展に多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、私どもは「第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会」を北海道函館地区にて開催する運びとなりました。前身である「スティミュレーション研究会」から16回目となる本会の事務局を担当させて頂けることを大変光栄に存じます。

本大会では「自然との融合」をテーマに掲げ、最新の技術と自然環境との調和がもたらす新たな治療の可能性について探求してまいります。

函館地区は、豊かな自然と歴史、そして未来への挑戦を象徴する街として広く知られています。この地で活躍された名士である高田屋嘉兵衛が「自然の恵みと調和こそが、繁栄と健康の礎である」と説いたように、私たちもこの理念を胸に、スティミュレーションセラピーの新たな可能性を見出したいと考えております。

特に、磁気刺激療法をはじめとした各種先端技術が、更なる発展を遂げるため、多角的に議論を深める予定です。また、自然がもたらす健康促進効果が、スティミュレーションセラピーにおいては日本のリハビリテーションの新たな可能性を見出す契機となればと考えております。

本大会が、日々進化を遂げるスティミュレーションセラピー分野の新たな道標となるとともに、参加者の皆様の実りある交流の場となることを心より願っております。函館の豊かな自然とともに、充実した時間をお過ごしいただければ幸いです。

つきましては、本大会の趣旨にご賛同いただき、ご協賛賜りたく謹んでお願い申し上げます。

謹白

2025年2月吉日

第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館
大会長 伊藤 文雄
副大会長 原口 浩一・末綱 太

組織委員

大 会 長 伊藤 丈雄 医療法人雄心会 理事長
副 大 会 長 原口 浩一 医療法人雄心会 函館新都市病院 院長
末綱 太 医療法人雄心会 青森新都市病院 院長

【日本スティミュレーションセラピー学会】

理 事 長 安 保 雅 博 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授
副 理 事 長 角 田 亘 国際医療福祉大学成田病院 主任教授
鬼 頭 伸 輔 NCNP病院国立精神・神経医療研究センター 精神診療部長
原 寛 美 医療法人藤森医療財団 藤森病院
特 任 理 事 垣 田 清 人 京都大原記念病院 院長
小 泉 和 雄 社会医療法人社団医善会 いずみ記念病院 理事長
高 木 清 医療法人社団聖仁会 我孫子聖仁会病院 正常圧水頭症センター センター長
八 反 丸 健 二 医療法人慈圭会 八反丸リハビリテーション病院 会長
松 原 六 郎 公益財団法人 松原病院 代表理事長
理 事 厚 地 正 道 医療法人慈風会 理事長
伊 藤 丈 雄 医療法人雄心会 理事長
岡 本 隆 嗣 医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院 理事長
片 山 容 一 医療法人雄心会 青森新都市病院 総長
川 手 信 行 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座 教授
菊 地 尚 久 千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長
木 村 知 行 社会医療法人寿人会 木村病院 理事長
児 玉 直 俊 京都近衛リハビリテーション病院 院長
児 玉 万 実 御所南リハビリテーションクリニック 院長
佐 々 木 庸 社会医療法人ささき会 藍の都脳神経外科病院 理事長
佐 々 木 信 幸 聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授
笹 沼 仁 一 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院 院長
中 山 恭 秀 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 准教授
西 村 行 秀 岩手医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授
新 見 昌 央 日本大学医学部リハビリテーション医学講座 主任教授
濱 口 豊 太 埼玉県立大学大学院 教授
原 島 宏 明 医療法人財団健貢会 総合東京病院 首都圏リハビリテーション部門セネラルマネージャー
百 崎 良 三重大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学分野 教授
渡 辺 寛 公益財団法人 河野臨牀医学研究所附属品川リハビリテーション病院 院長
名 誉 会 員 米 本 恭 三 東京慈恵会医科大学 名誉教授
監 事 金 子 達 也 医療法人雄心会 専務理事

開催概要

1. 会 議 名 第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館
2. 主 催 日本スティミュレーションセラピー学会
第7回大会長 伊藤 丈雄（医療法人雄心会 理事長）
同 副大会長 原口 浩一（医療法人雄心会 函館新都市病院 院長）
末綱 太 （医療法人雄心会 青森新都市病院 院長）
3. 後 援 北海道亀田郡七飯町、北海道亀田郡七飯町教育委員会
4. テ ー マ 『自然との融合』
5. 会 期 2025年7月17日（木）～18日（金）
6. 会 場 北海道大沼国際セミナーハウス（北海道亀田郡七飯町字大沼町127-1）
函館大沼プリンスホテル（北海道亀田郡七飯町西大沼温泉）※理事会
7. 参 加 数 約200名
8. 構 成 特別講演、一般演題、ランチョンセミナー、医療機器展示 など
9. 日 程

日時	午前	正午	午後
7月17日（木）	評議員総会	ウェルカムBBQ 医療機器展示	開会式 特別講演 一般演題 スイーツセミナー
7月18日（金）	特別講演 一般演題 医療機器展示	ランチョンセミナー 医療機器展示	特別講演 一般演題 閉会式

※ 理事会は7月16日（水）17：30より函館大沼プリンスホテルで行う予定です。

10. 事 務 局 第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館 事務局
医療法人雄心会法人本部内
〒041-0802 北海道函館市石川町331-16 2F
TEL：0138-34-7655
FAX：0138-34-7665
E-mail：jsts2025@yushinkai.jp

予算計画

1. 収入

項目	料金	数量	金額	摘要
1. 参加登録料 医師	10,000	50	500,000	
コメディカルほか	8,000	150	1,200,000	
学生	2,000	20	40,000	
2. 情報交換会参加費	4,000	60	240,000	
3. 企業共催金 スイーツセミナー	300,000	1	300,000	
ランチョンセミナー	300,000	1	300,000	
4. 企業ブース出展料 第2研修室	80,000	5	400,000	
第3研修室	80,000	4	320,000	
5. 広告料 カラー 1頁	60,000	3	180,000	抄録集
モノクロ 1頁	30,000	5	150,000	抄録集
モノクロ 1/2 頁	15,000	6	90,000	抄録集
クリアファイル ロゴ	150,000	3	450,000	配布用クリアファイル
バナー	20,000	10	200,000	大会ウェブサイト
収入合計			4,370,000	

1. 支出

項目	金額	摘要
1. 事前準備費用	1,300,000	ポスター、抄録集、ウェブサイト、参加証、郵送、外部委託等
2. 当日運営費用	1,100,000	会場、機材、消耗品、外部委託等
3. 講師料	1,000,000	交通費等含む
4. 情報交換会費用	970,000	
支出合計	4,370,000	

申込み方法など

1. 申込み 当該申込書にご記入のうえ、FAXもしくはE-mailにてお送りください。
申込期日は当該要項をご確認ください。
2. 支払い 申込内容を確認後、請求書をE-mailにて送付致します。発行日より1か月以内に、指定口座（下記）へお振込みください。入金確認後、領収書をPDFファイルでお送りします。
※E-mail以外での送付をご希望される場合は、事務局までご相談ください。

金融機関：道南うみ街信用金庫 七重浜支店（店番011）

口座：普通預金 0292553

名義：日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 大会長 伊藤文雄

フリガナ：ニホンスティミュレーションセラピーガクカイガクジュツカイ タカ仔ヨウ トウケン

3. キャンセル 申込後のキャンセルは、原則として受けかねます。ただし、やむを得ない事由のある場合は、事務局までご相談ください。
4. 申込金 自然災害、火災、疫病、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、主催者が開催を制限または中止した場合、本会に係る申込金の一部または全部を返金しない場合があります。
5. 管理 会場及び出展物等の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災その他の不可抗力による事故、盗難、紛失及び会場内における人的災害の発生については責任を負いません。
また、天災その他不可抗力によりやむを得ず学術大会を中止する場合がございます。これを理由として出展申込み等を取り消すことは出来ません。また、これによって生じた損害は補償しません。
6. 税法上の取扱い 免税措置、インボイス等の取扱いはありません。

7. 問合せ先 第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館 事務局
医療法人雄心会 法人本部内
〒041-0802 北海道函館市石川町331-16 2F
TEL：0138-34-7655
FAX：0138-34-7665
E-mail：jsts2025@yushinkai.jp

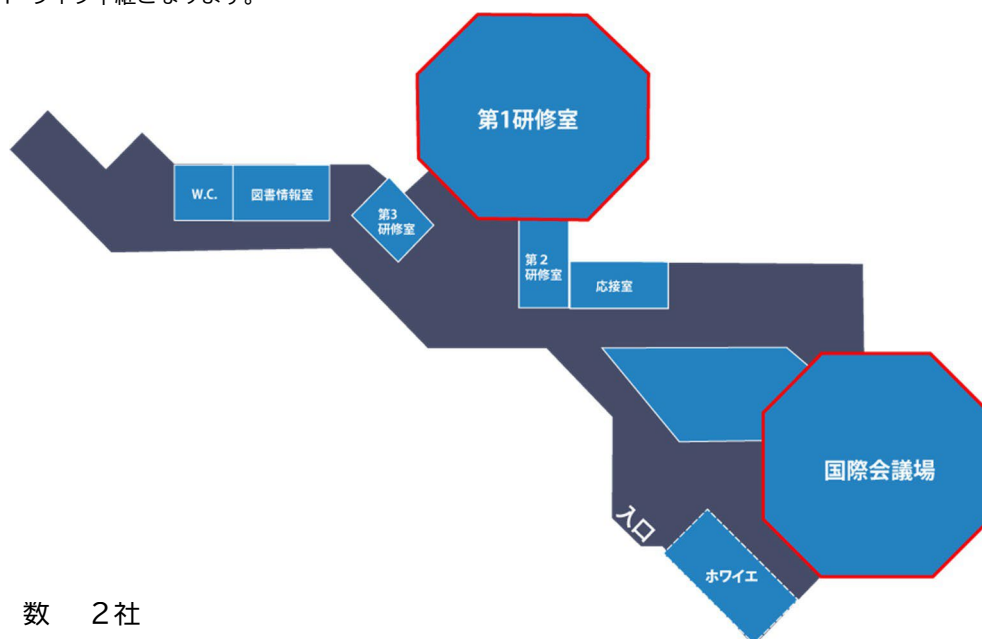
第 7 回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館 共催セミナー開催要項

1. 開催日時 スイーツセミナー
2025年(令和7年)7月17日(木) 15:00~16:00
ランチョンセミナー
2025年(令和7年)7月18日(金) 12:00~13:00

2. 会場、共催金

種別※1	会場	人数	共催費(税込)
スイーツセミナー	第1研修室	約100名	300,000円
	国際会議場※1	約100名	
ランチョンセミナー	第1研修室	約100名	300,000円
	国際会議場※1	約100名	

※1 ライブ中継となります。



3. 募集数 2社
4. 申込期日 2025年4月30日(水) 募集上限に達し次第、締め切ります。
5. 名称表記 共催：第7回スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館 ○○株式会社
6. 配布物 準備・配布などは、各社にてご対応ください。
7. テーマ・座長・演者の選定
ご希望を伺い、事務局にて最終決定いたします。学会テーマとの整合性や企業間での重複などを考慮し、変更をお願いする場合があります。
8. 共催金に含まれるもの
- ・会場・機材使用料(PC、プロジェクター、オペレーター、スクリーン、マイクなど)
 - ・プログラム関係費(企画、抄録掲載、共催企業名掲載)
 - ・会場の表示看板
 - ・控室の利用料(応接室)

9. 共催金に含まれないもの（別途ご負担）

- ・セミナー参加者の軽食および飲料
- ・座長・演者の交通費・宿泊費および係る手配
- ・座長・演者への謝金（金額などは各社に一任）
- ・チラシ作成および係る費用
- ・録画・録音などの追加機材
- ・講師控室で使用する機材および飲料

10. 変更・中止

- ・プログラム調整の都合により、開催時間・会場などが変更となる場合があります。
- ・やむを得ない事由（自然災害、火災、疫病など）により、本セミナーの開催日時の変更、中止またはウェブ配信などに開催形式を変更する場合があります。
- ・中止の場合は、それまでに要した共催金以外の準備費用は各社のご負担となります。
- ・開催形式が変更となった場合は、改めて共催諾否を伺います。

11. 透明性ガイドライン

本会は、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、共催各社と医療機関および医療関係者との関係の透明性に関する指針に従って、学会などの会合の開催に係る費用を、「学会名」、「共催セミナー名」の通りに貴社ウェブサイトへ情報公開することに同意します。

送信先：第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館 事務局

FAX：0138-34-7665

E-mail：jsts2025@yushinkai.jp

第7回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会 in 函館

企業共催セミナー申込書

1. 申込日 2025年 月 日

2. 配布物 あり（準備・配布等は、各社にてご対応ください。） なし

3. 申込内容 ご希望枠に☑をご記入ください。

	開催日	収容人数	共済金（税込）
<input type="checkbox"/> スイーツセミナー	7月17日（木）	約200名	300,000円
<input type="checkbox"/> ランチョンセミナー	7月18日（金）	約200名	300,000円

テ - マ	
座 長	
演 者	
備 考	

4. 連絡先

会 社 名	
申込責任者	
所属部署	
役 職	
住 所	〒
T E L	
F A X	
E - m a i l	